

市民生活部長 新川資源を有効に活用する環境面での整備については、管理主体である茨城県が浮遊ごみやアオコ等の障害物を除去する取り組みを進めており、本市も油の流出、魚のへい死といった緊急を要する場合の初動措置や、毎年三月と八月に実施する霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦において、地域の皆さまと一体となった清掃活動を展開している。新川を市民の憩いの場として活用するには、やはり水質浄化が重要であり、生活排水対策や事業場排水対策を推進するとともに、景観の向上も含め、様々な対策を講じてまいりたい。

産業部長 新川の花見船の運航については、今年度新たに取組んだ事業の一つであり、乗船された方々からは、水面にまで垂れ下がる桜のトンネルが美しく感動したなど、大変満足していただいたところである。今後も、市・観光協会・民間事業者・市民団体のほか、地元町内会等多くの方々と協働しながら、さらにイベントの充実を図ってまいりたいと考えている。このことが、観光基本計画の基本コンセプト

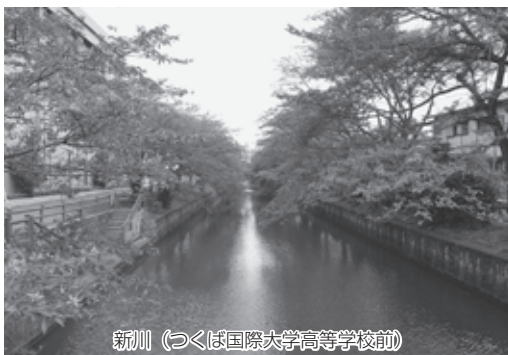
である、市民とともに育む観光、交流のまち土浦の実現につながるかと考えている。**（掲載以外の質問事項）**
 一 市職員に求める人材像
 二 新任部長の土浦市政に対する抱負と決意
 三 新規採用職員・教員への期待と要望

質問 公共サイン計画とは、その市の持つ歴史、自然、公共施設等の情報を利用者に



小林幸子 議員

本市における公共サイン計画について



新川（つくば国際大学高等学校前）

分かりやすく正確に伝達する手段として、公共案内板を統一的なデザインにし、誘導案内機能の充実を図ることを目的とした事業である。外国人、高齢者、障害者の方など、様々なニーズに応える細やかな配慮が必要であることから、本市における公共サイン計画の現状と取り組みについて伺う。

都市整備部長 現在本市で設置しているサイン等については、災害時のサイン誘導案内板や、観光施設等への誘導サイン、案内サインであり、来訪者及び利用者の利便性向上を図っている。今後の取り組みについては、今年度から二カ年で策定する土浦市景観計画の中で、本市の景観資源である霞ヶ浦や筑波山麓の自然景観、土浦城址や旧水戸街道の歴史景観、駅周辺の都市景観等

各々のエリアや、各地域の特性について整理し、それぞれの景観形成方針や景観形成基準等を定めることとしている。それらの定めを踏まえながら公共サイン計画を策定してまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

- 二 市職員の減額した給与の一部を、市民協働のまちづくり還元してはどうか。
- 三 シンクタンクについて

市庁舎の建設について



沼田義雄 議員

質問 本市では新庁舎の建設に向けて、平成元年度より建設資金の積み立てを行っており、その累計額は四十二億二千八百万円とのことである。市庁舎建設については約百億円の見込みであるが、合併特例債の三十八億円を使うことにより、残金は少なくなると思われることから、今後の庁舎建設についての見解を伺う。

市長 新庁舎整備については、大きな四つの課題が残っている。①人口減少社会など、時代に即した庁舎規模についての再検討②中心市街地活性化への対応など、本市の将来像にふさわしい立地場所についての再検討③効率的かつ効

果的な整備手法の検討④財源の確保である。庁舎建設基金については、早期の予算積み立てを再開したいと考えている。また、合併特例債については、庁舎問題を含め、他の合併特例債活用事業の進捗状況や、その見込みを踏まえた中で検討する必要があると考えており、現在、課題解決に向けての具体的な検討に入るため、基礎的データの収集、分析等の作業を進めている。今後、議会を始め市民の皆さまにお諮りしながら、庁舎建設に向けての方向性を導き出してまいりたい。**（掲載以外の質問事項）**
 二 全国花火競技大会について

Tsuctura City Assembly

市議会の模様は、土浦ケーブルテレビで議会初日翌週の月曜日から、午後10時～11時まで順次録画放送予定です。